

## 組織を活性化する実習 「第7回」

株式会社パートナーズリンク代表 藤崎敏郎

# 表情力高める「無言誕生日実習」

言葉だけに頼っていて、表情・アイコンタクト、うなずき、あいづちの重要性が分かっている人が多くいるのです。実習の体験で表情、アイコンタクトや身振りの重要性に気が付くことができます。お客様に挨拶するときも、ちょっと

手振りがあると思いやりや親切さを相手に伝えることができます。誕生日の月日の順番に全員で丸く輪になって並ぶ実習をご紹介します。

「これからは、「無言で」というルールがあります。進行役は、次のように注意事項を伝えます。

「これから誕生日の順番に並んでください。年齢は関係ありません。月日の順番に並びます。1月1日生まれの人から円がスタートします。次々に並んでいって円の最後は12月31日になります。ただし、円を作るときに言葉を出してはなりません。身振り、手振り、アイコンタクト、表情で意志を伝えあうことはかまいません」

ストップウォッチで時間を計測して、スピード感を出すと真剣になってくれます。この実習の目的は、言葉を使わずともコミュニケーションができる体験をすることです。ナンバーバル(非言語)のコミュニケーションの重要性を感じることができ、体を使って全員でやるので朝礼が活性化される効果もあります。ちなみに、この実習では話をしっかりと聴く習慣がない人ほど間違えやすいです。

この日、誕生日の人がいたりした時には、サプライズで皆でハッピーバースデーを歌うと盛り上がりやすい！



人はほとんどの情報を視覚情報から得ています。米国の心理学者アブラハム・メラビアンが発見した「メラビアンの法則」として知られています。この法則は、ナンバーバル非言語コミュニケーションがいかに重要かを示しており、アイコンタクト、表情、身振り、手振り、触れ合い、物理的距離が大きく影響しているというものです。



ふじさき・としろう  
株式会社パートナーズリンク代表取締役社長。大阪市立大学経済学部卒業後、大手流通チェーン企業に入社。準大手パチンコホール企業で総括SV、営業企画室長、経営計画部長を経て独立。人事コンサルタントとして社員教育・リスク回避型就業規則作成・フレッド作成コンサルティング、評価制度の構築などを行っている。